

2022年3月23日

委員各位

一般社団法人溶接学会
溶接疲労強度研究委員会
委員長 大沢直樹
(公印省略)

(オンライン開催)
開催通知

第273回溶接疲労強度研究委員会(FS委員会)を下記のように「オンライン」にて開催しますので、ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます。

出欠のご回答は4月1日(金)着でお願いいたします。

記

- 日時: 2022年(令和4年) 4月 8日(金) 13:30~16:30
- 開催方法: 「Microsoft Teams」によるオンライン開催
(アクセス方法は、参加申し込み頂いた後にメールでご案内します)
- 報告および研究発表
 - 13:30~13:45: 委員会議事
 - 13:45~14:15 FS-1332-22:
「マイクロニードルピーニング法による自動車部品におけるアーク溶接部の疲労強度向上」
○山口尚記 (JFE スチール(株))
 - 14:15~14:45 FS-1333-22:
「Mg-9%Al-1%Zn-2%Ca 合金押出材および MIG 溶接材, TIG 溶接材の平面曲げ疲労特性」
○斎藤尚文 (産業技術総合研究所)
 - 14:45~15:15 FS-1334-22:
「過流探傷 C-Scope 画像化による溶接部疲労き裂検出」
○小西拓洋 (東京都市大学(現:アイ・エス・エス))

15:15~15:30 ----- 休 憩 -----

 - 15:30~16:00 FS-1335-22:
「新低温変態温度溶接材料と全姿勢伸長ビード補修溶接法の
開発による角回し溶接継手の長疲労寿命化」
○平岡和雄(大阪大学接合研), 松崎拓也((株)三和ドック),
麻寧緒(大阪大学接合研),加納覚(神戸製鋼所),岡田公一(長崎総合科学大学),
大沢直樹(大阪大学大学院),村川英一, 馮中元(大阪大学接合研),
志賀千晃(志賀強度・大阪大学接合研),矢島浩(矢島材料強度研究所)
 - 16:00~16:30 FS-1336-22:
「溶接継手形状品質の自動評価手法の開発」
○堤成一郎, 下築瑠奈, 高田耕庸, 丹野秀平(大阪大学接合研)
- プログラムは都合により変更することがありますので、予めご了承下さい。

5. オンライン開催に伴うご参加について

(参加方法について)

参加のご連絡と誓約書(未提出の方、委員以外の方)をご提出いただきましたら、会議室番号URL、オンライン開催に関する情報を別途事務局よりご案内いたします。この情報はご参加者のみご利用をお願い申し上げます。

(配布資料について)

当日の配布資料、ご講演資料は委員会開催前に従来のダウンロードシステムを利用し皆様へご送付致します。(これは当日欠席される方にも同様に委員全員宛にご送付いたします)

オンライン開催当日までにご自身にて配布資料の印刷を行っていただきお手元にご準備のうえご参加をお願い申し上げます。

※オンライン配信画面の撮影、録音、録画、スクリーンショットおよびその他の映像機器をご利用されての記録は絶対に行われませんようお願い申し上げます。

以上